

2021年6月29日

鹿児島大学病院で

肝細胞癌に対する肝切除術、経皮的ラジオ波焼灼術、

肝動脈化学塞栓術による治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

肝細胞癌に対する治療効果および合併症に関する観察研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

教授 井戸 章雄

【研究の目的】

肝細胞癌は本邦において、腫瘍部位別がん年齢調整死亡率では第5位の疾患であり、主にウイルス性、アルコール性、非アルコール性脂肪肝疾患による慢性肝疾患を背景に発症します。肝細胞癌に対する治療として、肝切除、経皮的ラジオ波焼灼術(RFA)、肝動脈化学塞栓療法(TACE)、分子標的治療薬などがあります。RFAは3cm3個以内の肝細胞癌が適応となり、根治を目指す治

療です。バイポーラー針とモノポーラー針による治療があり、腫瘍の部位や形状に応じて針を選択しています。RFA の適応外となる肝細胞癌に対する治療として TACE がありますが、抗癌剤+油性造影剤の投与およびジェルパートによる塞栓で治療する conventional TACE(cTACE)と、薬剤溶出性ビーズを使用する DEB-TACE に分類されます。RFA や TACE の新たな治療デバイスが登場してきており、治療効果が向上することが期待されている一方で、治療効果や合併症に関しては十分に検討されていません。よって、各治療の治療成績や合併症に関して、後ろ向きに研究することを目的としました。

【研究の方法】

肝細胞癌に対し肝切除、RFA または TACE を施行された患者さんの治療前後の血液検査データ推移、再発の有無や程度、予後等に関して検討します。

【対象となる患者さん】

2010 年 1 月から 2025 年 3 月までに、鹿児島大学病院において、肝細胞癌に対し肝切除、RFA や TACE を施行された方

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

診療情報：年齢、性別、病歴、血液検査(WBC,RBC,Hb,Plt,PT,AST,ALT,LDH,ALP, γ GTP,T-bil,D-bil,ChE,TP,Alb,BUN,Cr,AFP-L3,PIVKAII)、画像検査結果(エコー、CT、MRI)、予後・転帰等

試料・情報の管理に関する責任者は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野 助教の馬渡誠一医師です。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学分野の研究費で実施します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

助教 馬渡 誠一

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504